

真鶴中学校だより 第二三三号

鶴からの手紙

2021.12.24

責任者
市川 麻美

令和二年も残すは一週間：

今年も新型コロナウイルス感染症対策に明け暮れた一年でした。真中生は、「新しい学校生活習慣」をしっかりと定着させ、制限の多い中で本当によく頑張ってきました。

三年生との面談で、「これまでの二年間は制限の多い学校生活で大変でしたね」と問いかけると、「行事の規模縮小は残念だったけれども、その中でできることを精一杯やれたし、どんなことができるかを考えた。コロナ禍だったからこそわかったことが多くあり、勉強になったのでよかった。」と答える人が多かったです。大変感心するとともにうれしく思いました。



二年生も、定期テスト後から校長面談を始めました。生徒会活動において、三年生からのバトンを引き継いで活動していきます。入学前からコロナ禍で、中学校生活が制限と共に始まったことについて、「残念ではあるけれども行事はみんな協力して楽しくできました」という声ばかりで、本当に生徒の皆さんの頑張りに感謝します。

年が明けたら、一年生との面談をしたいと思っていますのでよろしくお願ひします。

二〇二一年を笑って送り、新年二〇二二年も笑顔で迎えられるように、できることをしっかりとやって、感謝の気持ちを忘れずに、この冬休みも家で心を落ち着けてゆったりと過ごしてください。

一学期振り返り

私は後期学年委員となり、学年委員のみんなと協力して活動することができました。

初めにあがった課題は二分前着席でした。チャイムギリギリに座る人が多かったのです。私たちは声をかけて改善しようとしたのですが、実際には声をかけにくいことが多かったのです。そこで私たちは声かけに工夫をすることにしました。

まず、タイマーを活用して呼びかけました。また、近くの席の人たちに協力してもらい一緒に声かけをしてもらいました。少しずつ二分前着席の意識が広がっていき、声かけが早く届くようになりました。

十二月初めのアンケートでは「二分前着席を心がけた」と回答する人がとても多かったです。



三学期は、受験、卒業式が待っています。私たちは、みんな

が安心できるような学年にしたいです。

そのためには、学年みんなが協力して学習に集中できる環境をつくる必要があります。進学先が決まったといって気持ちを緩めるのではなく、気持ちを引き締めて生活することも必要です。

三学期は、三年みんなが笑顔で臨める卒業式になるよう頑張っていきたいと思います。

三年

学年委員会の仕事は、帰りが遅くなり大変ですが、学年をより良くするために頑張っています。校内ですれ違う先生たちにあいさつをすることを心がけていますが、全生徒にできるようにしていきたいです。

学年では、定期テスト前に勉強時間をシールで貼る取り組みをしています。この成果で全体的に勉強時間が伸び、互いを高め合いながら勉強に取り組むことができました。

また、二学期の生徒総会では司会や運営を二年生が中心と

なり開催しました。学習活動発表会では、合唱のトップバッターを務め、良い雰囲気を作るこ
とができたと思います。

課題としては、二分前着席など、時間を意識して生活できていないこと、また、テスト後に気がゆるんで落ち着いて生活できていないことです。

それを改善するためには、一人ひとりの意識を変える必要があると思います。

三学期に向け、学級目標の達成率を上げ、三年生を送り出す準備をし、やがて最高学年としてみんなを引っ張っていきけるようにしたいです。

二年

一年一組の二学期を振り返ると一学期に比べて、とても成長したと思います。月間目標を立てたことなど、みんなが声をかけ合い、協力してより良いクラスをつくらうと意識していました。

月の目標を立て、朝の会や帰りの会で発表したことで、最初
は学年委員だけが二分前着席の呼びかけをしていましたが、

だんだん呼びかけをしてくれる仲間が増えてきました。他にも、クラスがさわがしくなった時に呼びかけをしてくれるなど、たくさん成長したところがあります。

そんな二学期が終わり、三学期が始まります。冬休み明けでもある三学期。みんな気が抜けてもおかしくありません。僕たち学年委員を中心に乗りこえられるよう、がんばりたいと思います。以上、二学期の振り返りでした。

一年

学校生活アンケート

保護者の皆様には、年末のご多用のところ、アンケートにご協力いただきありがとうございます。学校の運営改善に役立てるとともに、集計結果は、別に紹介させていただきます。

なお、アンケート集約の方法についても、ご意見をいただきました。次回からは、検討のうえ改善してまいります。ありがとうございました。

●地域の方から●

現在、中学校の下课時刻は16時30分ですが、あたりはすっかり暗くなっています。先日、地域の方から「中学生が交通事故に遭わないか心配。懐中電灯を持たせたらどうか。」とご意見をいただきました。

夜道を歩くときは、自分の存在を自動車・バイク等に知らせることも必要です。身を守るためにも、ご家庭で相談の上、必要に応じて対策をとっていただくようお願いします。

幼小中連携の まど Vol.8

学校保健委員会担当

10月27日、中学校で、学校医やPTAの方々、まなづる小の物部先生を招き、学校保健委員会を開きました。「新型コロナウイルスに負けない生活作り ～みんなが自然と感染対策ができる環境に～」をテーマに、中学校での取り組みを紹介するとともに、感染症対策のあり方や今後の過ごし方について話し合いました。

そして、11月25日は、まなづる小に招かれ、小学校の学校保健委員会に出席しました。

小学校では、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、給食後の歯みがきを中止していました。しかし、歯みがきが感染予防に大切な役割を果たすことから、再びみんなで取り組めるよう、新しい生活様式にあった歯みがきの仕方を保健委員が紹介してくれました。中学校のみなさんにもどこかで紹介できればと思います。

今後も小中の連携を大切にしながら、小中学生のみなさんが心身ともに健康にすごすことができるようサポートしていきたいです。

